

普及センターだより

土 浦



平成30年7月23日 No.44
茨城県県南農林事務所 経営・普及部門
(土浦地域農業改良普及センター)
土浦合同庁舎第2分庁舎3F
土浦市真鍋5-17-26
電話 029-822-7242
FAX 029-822-7370
URL <http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nannourin/keiei/tsuchiura/index.html>

レンコン産地の更なる発展を目指して ～産地と連携したレンコン生産振興の取組み～



若手生産者による農機メンテナンス研修



最新の情報を提供する生産者研修会



環境負荷軽減を目的とした水質調査



青年部員による優良系統増殖ほの設置



黄色盤やフェロモントラップ、現地試験による虫害対策



これからも、若手生産者への学習機会の提供や、組織活動に対する支援、地域全体の生産者を対象とした研修会や広報資料による情報発信を通して、更なる産地発展を目指してまいります。

環境面では、GAP（農業生産工程管理）や、無駄のない効率的な施肥技術等を導入し、より安全で安心なレンコン生産に力を入れています。

土浦地域のレンコン産地が継続して発展するよう、普及センターでは、JA、市、生産者、研究機関等と連携し、環境と調和した高品質なレンコンを安定生産できる産地づくりに取り組んでいます。生産面では、アブラムシ類の発生予察、フェロモントラップの設置による地域ぐるみのハスモンヨトウ防除、黒皮症の総合防除法の現地実証等を行っています。

また、産地と協力して五年間かけて優良系統を選抜しました。選抜系統は平成30年度からJA青年部員等が増殖を始めています。

土浦普及センターだより



ましょう。

来年の育苗時の対策としては、ヒメトビウンカを対象に、薬効が長期間持続する育苗箱施薬剤で防除します。

県南・県西地域を中心に、イネ縞葉枯病の発生が多くなっています。防除対策をしつかりと行い、イネ縞葉枯病の被害の拡大を食い止める必要があります。

イネ縞葉枯病は、イネ縞葉枯ウイルスを持つたヒメトビウンカ（写真1）がイネを吸汁することにより感染するウイルス病です。

本ウイルスに感染すると、葉に淡黄色の縦縞ができ、穂が出すくんだり（写真2）、出穂しても不穏になつて減収します。

本ウイルスに感染した場合、治療する方法はありません。対策は、媒介虫であるヒメトビウンカを防除して感染の機会を減らすことです。

今後の防除対策として、発病株から発生するひこばえをヒメトビウンカが吸汁すると、ウイルスを獲得するので、刈取り後の水田をできるだけ早く耕起し



写真2
穂の出すくみ

写真1
ヒメトビウンカ



レンコンの栽培期間以外でも、残さ等を食べにきた野鳥が天井網や緩んだサイドネットに絡まることがあります。

レンコンの収穫後や、畦畔の除草後も、サイドネットを下まで閉じることが大切です。



下まで閉じた防鳥網

『環境にやさしい農業へ』

野鳥が水田に入らないように管理することは、野鳥の羅網事故の防止に繋がります。

水田に設置してある防鳥網のサイドネットの裾に隙間があると、野鳥が歩いて簡単に水田に入ってしまいます。



ナシの重要な病害「黒星病」は主に、春季の芽基部病斑、生育期の葉柄や果実に発生する病斑、収穫後の時期に見られる秋型病斑が感染源となります。特に、平成二〇年以降、黒星病の秋型病斑の発病度は、それ以前に比べると高い傾向にあり、秋・冬のうちに園内の病原菌密度を下げておくことが、次作の黒星病対策の第一歩となります。

表 秋季から冬季の黒星病防除の例	
農薬散布	<ul style="list-style-type: none"> 秋季防除の徹底（10月中旬～11月中旬頃まで、3回散布） 十分量をムラなく散布
園内管理	落葉を集めて園外へ持ち出す、または鋤き込む
せん定・誘引	<ul style="list-style-type: none"> 秋季せん定（10/20頃） 長果枝先端の切り返し 側枝密度の均平化

秋季防除の方法は表のとおりで、薬剤防除や落葉処理等があげられます。なお、薬剤散布前に秋季せん定（側枝の枝抜き等）を行なうこと

※樹勢の弱い樹や徒長枝は除く

で、棚上の長果枝先端まで散布薬液が付着しやすくなります。



グラジオラスは、夏季の高温強日照により花穂の縁や先端が壊死する「穗焼け」症状が発生し問題となっています（写真1）。穗焼けが発生すると商品価値が下がるだけでなく、産地の信頼を損ねるため、対策が急務となっています。

対策としては、土浦地域では近年、遮光ネットの導入が進んでいます。遮光ネットをほ場に

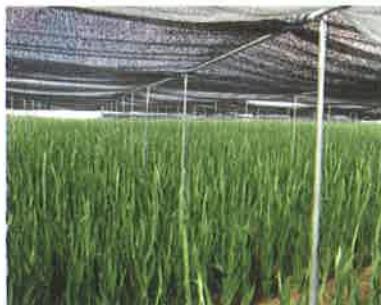


写真2 遮光ネットの様子



写真1 穗焼け症状

a 当たり約二八万円のコストがかかりますが、秀品率の向上による単価の上昇や增收効果に加え、出荷時期に合わせてネットを移動し多面積をカバーできるため、单年度でのコスト回収ができると期待されます。

平成二九年八月の調査では、遮光ネットの展張区で、無処理区に比べて秀品率の向上と增收効果が認められました。

土浦市
第一期土浦ブランド十八点が認定されました！

土浦ブランドは「土浦の恵みが人を結び、まちの賑わいが土浦を豊かにする」をコンセプトに、土浦市産農林水産物や加工品に冠せられるブランドです。

第一期としてJA土浦の「れんこん」、土浦市農業公社「土浦産常陸秋そば」、JA土浦女性部加工部会「亀城味噌」など十八点が三月二十四日に認定されました。

今後、土浦ブランドマークとともに土浦市産農産物の魅力を広めることが期待されます。

かすみがうら市 かすみがうらから

醸酒が誕生！

「ふくまる厳選米」を使った大吟



かすみがうら市農業再生協議会では、「ふくまる」の作付拡大、ブランド化を支援しています。協議会員であるJA土浦の企画のもと、新たな取組みとして、

かすみがうら市産ふくまるのかすみがうら市産ふくまるの「厳選米」を原料にフルーティーで爽やかな香りですつきりした飲み口の大吟醸酒が誕生しました。五月一日から、かすみマルシェ、JA土浦直売所等で販売が開始されています。是非、ご賞味ください。

石岡市

新たに一組の農業研修生

JAやさとゆめファームと朝日里山ファームでは、今年それぞれ新たに一組づつの研修生を迎える入れました。

朝日里山ファームでは、平成二八年度にハウス等を整備し、初めて研修生を迎えました。ゆめファームでは、二九年度に研修に必要な施設が整備され、より効率よく農業を学べるようにしました。

研修生は二つの施設でそれぞれ二年間、先輩農家の指導を受けながら、夫婦で実践的な栽培研修を行い、経験を積みながら、新たに農家として独り立ちできるよう汗を流しています。

どうぞよろしく お願ひします

今年度、新たに農業三士として茨城県知事の認定を受けた皆さんをご紹介します。



石岡市 廣澤 剛氏



露地野菜
栽培品目
(有機JAS認証取得)
レタス・ネギ等

石岡市 柏植 泰宏氏



普通作
栽培品目
稻・麦・大豆・採種等



農業経営士
土浦市 萩島 一郎氏

施設・露地花
栽培品目
グラジオラス等



女性農業士
かすみがうら市 茅場 桂子氏

経営類型
観光果樹
栽培品目
梨・ブドウ等

青年農業士
土浦市 野口 重典氏

経営類型

露地野菜
栽培品目
レンコン



かすみがうら市 椎名 正勝氏

経営類型

露地野菜
栽培品目
レンコン



石岡市 田口 智裕氏

経営類型

施設園芸
栽培品目
花苗・野菜苗



かすみがうら市 安田 聖也氏

栽培品目
観光果樹・露地野菜
レンコン・梨・ブドウ等



ホームページ



Facebook

問い合わせ先

いばらき農業アカデミー事務局
TEL 0299-45-8321 FAX 0299-45-8350

問い合わせ先

茨城県立農業大学校
TEL 029-292-0010 FAX 029-292-0903